

令和6年度

学生募集要項



入学者選抜日程

推薦による 入学者選抜	出願期間	令和5年12月18日(月)~令和6年1月10日(水)16時必着 (Web出願も令和5年12月18日(月)受付開始)
	試験日	令和6年1月21日(日)
	合格内定通知送付	令和6年1月26日(金)
	入学確約書提出期限	令和6年2月2日(金)16時(必着)
学力試験に よる 入学者選抜	出願期間	令和6年1月22日(月)~令和6年1月26日(金)16時必着 (Web出願は令和6年1月15日(月)受付開始)
	試験日	令和6年2月11日(日)
	合格者発表	令和6年2月16日(金)
	入学確約書提出期限	令和6年3月1日(金)13時(必着)



独立行政法人国立高等専門学校機構

東京工業高等専門学校

《お問合せ先》

東京工業高等専門学校 学生課教務係

〒193-0997 東京都八王子市栢田町 1220-2

TEL: 042-668-5127

FAX: 042-668-5092

URL: <https://www.tokyo-ct.ac.jp>

目次

I. 入学者選抜の概要	2
1. アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	2
2. 入学者選抜の方法	2
3. 入学定員・募集人員	2
4. 学科選択制度	2
II. 推薦による入学者選抜（推薦入試）	3
1. 出願資格	3
2. 出願手続	3
3. 選抜日程	4
4. 選抜方法	4
5. 選抜結果の通知	4
6. 入学確約書の提出	4
7. 志望学科の選択について	4
8. 推薦入試で不合格となった場合の取り扱い	5
III. 学力試験による入学者選抜（学力入試）	5
1. 出願資格	5
2. 出願手続	5
3. 選抜日程	6
4. 選抜方法	6
5. 合格者発表	6
6. 入学確約書の提出	6
7. 志望学科の選択について	7
8. 最寄り地等受験制度について	7
9. 追試験	7
IV. 入学手続	8
V. その他	8
1. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	8
2. 学力入試の成績開示について	9
3. 出願書類に記載された個人情報の利用範囲について	9
4. 注意事項	9
5. 第2学年進級時の学科配属の選考方法について	10
6. 入学者選抜に関する窓口	10
VI. よくある質問	11

I. 入学者選抜の概要

1. アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

本校では、ものづくり、基礎学力、技術者としての倫理観、コミュニケーション能力、グループ活動を大切に考えることを基本としたエンジニアを育てることを目標に、次のような入学者を求めます。

- (1) 理数系科目が好きであり、それらの科目の成績が優秀である。
- (2) 科学や技術の分野で新しいことを学びたいという学習意欲がある。
- (3) 英語でのコミュニケーション能力習得に熱意がある。
- (4) ものづくりに興味があり、新しいものを作りたいと考えている。
- (5) 仲間とともにグループで作業ができる。
- (6) 自覚的な行動ができる。
- (7) 規則正しい生活と、毎日の自発的学習ができる。

◇入学者選抜の基本方針

(1) 推薦による入学者選抜

出身中学校長から推薦された志願者のうち、一定水準以上の数学・理科の学力を身につけ、かつ自発的・継続的な学習能力を有する本校への入学意志が強い志願者を受け入れる。

(2) 学力による入学者選抜

準学士課程における学習に必要な基礎学力をもつ志願者を数学の学力を重視した学力検査により選抜する。

2. 入学者選抜の方法

本校のアドミッション・ポリシーに合致した者を入学させるため、入学者選抜の基本方針に基づき、「推薦による入学者選抜」(以下、推薦入試という)と、「学力試験による入学者選抜」(以下、学力入試という)により入学者を選抜します。

3. 入学定員・募集人員

学 科 名	入学定員	募 集 人 員	
		推薦入試の募集人員	学力入試の募集人員
機械工学科	40名	各学科とも 入学定員の 6割程度	各学科とも 入学定員の 4割程度
電気工学科	40名		
電子工学科	40名		
情報工学科	40名		
物質工学科	40名		
計	200名		

4. 学科選択制度

本校では、第2学年進級時に正式な配属学科を決める、学科選択制度を導入しています。新入生は入学後の1年間、学科の教員や先輩学生によるガイダンスに参加したり実験室や研究室を見学して、学科の特色を調べ、本当に自分に

あった学科を改めて志望します。そして第2学年進級時に配属学科が正式に決定します。従って、志望学科を記入して受験し、学科ごとに合格者を発表しますが、入学後の1年間はその学科に仮配属となります。

II. 推薦による入学者選抜(推薦入試)

1. 出願資格

推薦入試に出願できる者は、下記の(1)~(5)の条件を全て満たし、かつ、在籍学校長の責任ある推薦を受けた者とします。他の学校の推薦入試との併願は認められません。

(1) 以下のいずれかに該当すること。

- ・ 中学校又は義務教育学校を令和6年3月までに卒業見込みの者
- ・ 中等教育学校の前期課程を令和6年3月までに修了見込みの者
- ・ 文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年3月までに修了見込みの者(学校教育法施行規則第95条第2号参照)

(2) 本校への入学意志が強固で、明確な目的意識を持つ優れた人物であること。

(3) 向学心に富み、他の生徒の模範となる中学校生活を送っていること。

(4) 中学校第3学年の9教科の評定値(令和5年12月31日時点の評定値)がそれぞれ5段階評価で合計36以上、かつ、数学、理科及び英語の評定値がそれぞれ4以上であること。

(5) 合格した場合、入学することを確約できること。

2. 出願手続

Web出願システムで出願手続を行い、入学検定料(16,500円)及び手数料等を納付の上、下記の出願書類を本校入試窓口へ、期限までに一括して書留郵便で提出してください。郵送の際は宛先を手書きせず、必ずWeb出願システムの宛名票を貼り付けてください。これらの手続が全て完了すると、申込完了メールが届きますので、そのメール受信をもって出願手続が完了となります。出願手続を完了していないと受験できませんので注意してください。なお、令和6年1月10日(水)を過ぎても申込完了メールが届かない場合は、本校入試窓口にお問い合わせください。

Web出願受付開始 令和5年12月18日(月)

出願書類受付期間 令和5年12月18日(月)~令和6年1月10日(水)16時必着

《出願書類》

出願書類	摘要
(1)推薦書(※)	在籍学校長が作成し、厳封したものに限ります。
(2)入学志願者調査書(※)	在籍学校長が作成し、厳封したものに限ります。記入に際しては、入学志願者調査書裏面の「記入上の注意」を参照してください。
(3)面接シート(※)	受験生自身の考えを自筆で記入してください。
(4)写真票	Web出願システムにより作成された写真票を印刷し、提出してください。利用する写真は、出願前3カ月以内に撮影した正面・上半身・脱帽・マスク未着用・無背景のものとします。カラー・モノクロの別は問いません。
(5)資格証明書 (資格を有する場合)	「実用英語技能検定準2級以上」「実用数学技能検定準2級以上」の資格を有する者は、その資格証明書又は合格証明書の写しを提出してください。

(※)印の推薦書、入学志願者調査書、面接シートは、本校Webサイトからダウンロードし、A4縦置きで両面印刷(推薦書は1ページのため片面印刷)したものを使用してください。

3. 選抜日程

推薦入試は、令和6年1月21日(日)に本校で行います。集合時刻は9:00です。試験当日の詳細は、受験申込完了メール発送時に案内する「令和6年度推薦による入学者選抜受験心得」で案内します。

4. 選抜方法

推薦入試では、入学志願者調査書、推薦書及び本校が実施する面接結果に基づき、次表に従って算出した面接点と内申点の合計を評価点とし、評価点の上位の者から順に志望順位の高い学科へ合格を決定します。

項目	配点	評価方法		
面接	30点	・3名の面接員による個人面接を実施します。 ・出願書類の記載事項等を参考に面接を実施し評価します(注1)。		
内申 (注3)	70点	数学・理科・英語 (重点教科) 内申点を1.8倍に換算 5×1.8倍×3教科=27点	国語・社会・音楽・美術・ 保体・技家 内申点を1.3倍に換算 5×1.3倍×6教科=39点	資格点(注2) 英検・数検 2点×2教科=4点

(注1) 面接シート等は直接の評価対象になりませんが、面接シートを含む出願書類の内容をもとに面接を行います。

(注2) 資格点の対象は、「実用英語技能検定準2級以上」、「実用数学技能検定準2級以上」です。それぞれの検定で準2級以上の資格を取得している場合2点とし、両方取得している場合は4点となります。なお、これら技能検定の一次試験のみ合格している場合は、対象になりません。

(注3) 内申点は第3学年の5段階評定値(令和5年12月31日時点の評定値)のみを用いて計算します。

5. 選抜結果の通知

令和6年1月26日(金)に簡易書留で本人及び在籍学校長あてに選抜結果通知書を送付します。選抜結果に関する電話での問合せには、一切応じられません。

6. 入学確約書の提出

合格内定者には、選抜結果通知書を送付する際に入学確約書を同封します。入学確約書に必要事項を記入し、本人及び保護者の署名の上、簡易書留で本校入試窓口へ期限必着で提出してください。直接持参してもかまいません。提出期限は令和6年2月2日(金)16時必着です。

期限までに提出しない者は、入学の意志がないものとして取り扱います。また、入学確約書を提出した後に入学意志を変更することはできません。

なお、正式な合格通知書及び入学手続書類は、学力入試の合格発表(令和6年2月16日(金))後に送付します。

7. 志望学科の選択について

- (1) 志望学科は第一志望から第五志望まで選べます。
- (2) 志望学科は入学時の仮配属学科で、第2学年進級時に決定する正式な配属学科を保証するものではありません。
- (3) 第二志望以下の学科がない場合は、出願時に「なし」を選択してください。
- (4) 推薦入試で不合格となった場合に学力試験も受験する場合は、学力入試の場合の志望学科も選択してください。原則として、推薦入試で選んだ志望学科がそのまま学力試験の志望学科になりますが、推薦入試で「なし」を選択した志望順位のみ、学力入試で新たに志望学科を追加選択できます。

- (5) 推薦入試の評価点の高い者から順に、志望順位の高い学科へ合格内定者として割り振ります。従って、志望学科を第五志望まで記入しない場合、評価点の順位が全合格内定者数以内であっても、記入した全ての志望学科が定員充足のため、合格内定にならないことがあります。

8. 推薦入試で不合格となった場合の取り扱い

出願の際に、学力入試の受験も希望した者に限り、推薦入試で不合格になった場合、改めて出願書類の提出や入学検定料の納付をすることなしに、学力入試を受験することができます。

受験票は、推薦入試のものを学力入試でも使用します。詳細は、学力入試前にメールで案内する「令和6年度学力試験による入学者選抜受験心得」で確認してください。

III. 学力試験による入学者選抜(学力入試)

1. 出願資格

学力入試に出願できる者は、下記の(1)～(3)のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 中学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者、又は令和6年3月までに卒業見込みの者(学校教育法第57条参照)。
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者、又は令和6年3月までに修了見込みの者(学校教育法第57条参照)。
- (3) 中学校卒業と同等以上の学力があると認められた者(学校教育法施行規則第95条の各号のいずれかに該当する者)。なお、学校教育法施行規則第95条第1号及び第2号については、令和6年3月までに修了見込みの者も含める。

2. 出願手続

Web出願システムで出願手続を行い、入学検定料(16,500円)及び手数料等を納付の上、下記の出願書類を本校入試窓口へ、期限までに一括して書留郵便で提出してください。郵送の際は宛先を手書きせず、必ずWeb出願システムの宛名票を貼り付けてください。これらの手続が全て完了すると、申込完了メールが届きますので、そのメール受信をもって出願手続完了となります。出願手続を完了していないと受験できませんので注意してください。なお、令和6年1月30日(火)を過ぎても申込完了メールが届かない場合は、本校入試窓口にお問い合わせください。

Web出願受付開始 令和6年1月15日(月)

出願書類受付期間 令和6年1月22日(月)～令和6年1月26日(金)16時必着

《出願書類》

出願書類	摘 要
(1)入学志願者調査書	在籍学校長が作成し、厳封したものに限り、記入に際しては、入学志願者調査書裏面の「記入上の注意」を参照してください。
(2)写真票	Web出願システムにより作成された写真票を印刷し、提出してください。利用する写真は、出願前3カ月以内に撮影した正面・上半身・脱帽・マスク未着用・無背景のものとし、カラー・モノクロの別は問いません。

入学志願者調査書は、本校Webサイトからダウンロードし、A4縦置きで両面印刷したものを使用してください。また、成績一覧表や、公立高校等で使用されている事前提出シートは、提出する必要はありません。

3. 選抜日程

学力入試の日程は下記のとおりです。試験当日の詳細は、受験申込完了メールの発送時に案内する「令和6年度学力試験による入学者選抜受験心得」で案内します。

試験日	令和6年2月11日(日)	集合時刻	9:00
試験会場	東京工業高等専門学校		
試験教科及び日程	下記のとおり		

時間	教科
9:30~10:20	理科
10:40~11:30	英語
11:50~12:40	数学
13:30~14:20	国語

4. 選抜方法

学力入試では、国語、数学、理科、英語の4教科を対象に、マークシート方式による試験を行います。評価点は、試験の得点及び入学志願者調査書の内容に基づき、学力試験の点数と内申点を次表に従って算出します。そして、評価点の上位の者から順に志望順位の高い学科へ合格を決定します。

項目	配点	評価方法
学力試験	70点	下記の①と②の計算式で各教科の得点を換算し、合計が70点満点になるように計算します。数学は重点教科に位置づけ、2倍の重みをかけて計算します。 ①(数学の得点) $\times 2 \times 0.14$ (100点 $\times 2$ 倍 $\times 0.14 = 28$ 点満点) ②(国語、理科、英語の得点の合計) $\times 0.14$ (100点 $\times 3$ 教科 $\times 0.14 = 42$ 点満点)
内申 (注)	30点	下記の①と②の計算式で各教科の5段階評定値を換算し、合計が30点満点になるように計算します。国語、数学、理科、社会、英語の5教科は重点教科に位置づけ、1.2倍の重みをかけて計算します。 ①(国語、数学、理科、社会、英語の評定の合計値) $\times 1.2 \times 0.6$ (5 $\times 5$ 教科 $\times 1.2 \times 0.6 = 18$ 点満点) ②(音楽、美術、保健体育、技術・家庭の評定の合計値) $\times 0.6$ (5 $\times 4$ 教科 $\times 0.6 = 12$ 点満点)

(注) 内申点は第3学年の5段階評定値(令和5年12月31日時点の評定値)のみを用いて計算します。

5. 合格者発表

令和6年2月16日(金)13時に、推薦入試及び学力入試の合格者の受験番号を、本校Webサイトで発表します。補欠合格者の受験番号も同時に発表します。また、学力入試の合格者には、簡易書留で合格通知書と入学確約書を送付します。なお、選抜結果に関する電話による問合せには、一切応じられません。

6. 入学確約書の提出

合格者のうち、本校に入学する意志のある者は、入学確約書に必要事項を記入し、本人及び保護者の署名の上、簡易書留で本校入試窓口に期限必着で提出してください。提出期限までに郵送できない場合に限り、直接持参することができます。提出期限は令和6年3月1日(金)13時必着です。

期限までに提出しない者は、入学の意志がないものとして取り扱います。また、入学確約書を提出した後に入学意志を変更することはできませんので、慎重に意志決定してください。

7. 志望学科の選択について

- (1) 志望学科は第一志望から第五志望まで選べます。
- (2) 志望学科は入学時の仮配属学科で、第2学年進級時に決定する正式な配属学科を保障するものではありません。
- (3) 第二志望以下の学科がない場合は、出願時に「なし」を選択してください。
- (4) 学力入試の評価点の高い者から順に、志望順位の高い学科へ合格者として割り振ります。従って、志望学科を第五志望まで記入しない場合、評価点の順位が全合格者数以内であっても、記入した全ての志望学科が定員充足のため、合格にならないことがあります。

8. 最寄り地等受験制度について

国立高等専門学校機構では、学力試験による入学者選抜において、出願する高専に関係なく、全国にある51の国立高等専門学校とその他設置している会場のどこでも受験が可能な「最寄り地等受験制度」を導入しています。受験生は本校が設置する会場以外に、機構ホームページの「最寄り地等受験制度会場一覧」から、受験したい会場を希望することができます。

ただし、会場の収容人数等の都合で必ずしも希望に添えないこともありますので、希望する受験生は、本校入試窓口にも必ず事前に相談してください。本校で受験する場合は、事前相談は不要です。

- (1) 相談期間は、令和5年11月1日(水)から令和6年1月25日(木)までです。事前相談期間締切り後の相談は受け付けられませんので注意してください。
- (2) 最寄り地等受験制度会場一覧は <https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/moyori.html> に掲載されています。本校Webサイトからもたどることもできます。
- (3) 推薦入試は、本制度の対象外です。

9. 追試験

令和6年度学力入試に出願した者(推薦入試で不合格になり学力入試を受験する場合も含む)のうち、次の事項に該当する者が、学力試験(以下、本試験という)当日の令和6年2月11日(日)9時までに本校に申し出た場合に限り、その受験生を対象に下記のとおり追試験を行います。詳細な手続等は、本校に申し出た際にお知らせします。

追試験日時	令和6年2月25日(日) 当日の日程は本試験と同じ
合格発表	令和6年3月1日(金) 13時
入学確約書提出期限	令和6年3月4日(月) 13時
対象者	(1) 学校保健安全法施行規則(昭和33年文部省令第18号。以下「施行規則」という。)第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者 (2) その他、受験者自身の責めに帰ることができない理由で本試験を受験できず、追試験の受験を申請した者で、校長がその申請を認めた者

IV. 入学手続

- (1) 推薦入試又は学力入試に合格し、入学確約書を提出した者には、学力入試の入学確約書提出期限(令和6年3月1日)以降に、入学手続書類を送付します。学力試験の合格者で入学確約書を直接持参した者には、直接お渡しします。
- (2) 入学手続書類に同封する本校所定の振込用紙を使用して、入学料を納入してください。納入期限は令和6年3月4日(月)です(追試験を受験した場合の納入期限も令和6年3月4日(月)です)。
- (3) 3月中旬以降に入学諸手続及び教科書・教材等の販売を行います。詳細な日時等は入学手続書類の中の文書で案内します。

V. その他

1. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

東京工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに東京高専学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一か月前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告(第二次まとめ)」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても入試担当窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

相談窓口 学生課教務係 (電話番号) 042-668-5127
(FAX) 042-668-5092 (MAIL) kyoumu@tokyo-ct.ac.jp

2. 学力入試の成績開示について

学力入試の不合格者を対象に、希望者には下記の要領で学力入試の成績を開示します。なお、学力試験に合格し、本校に入学した者への開示方法は、令和6年5月以降に学内掲示板で周知します。推薦入試に関しては成績開示を行っておりません。

(1) 申請者

学力試験の受験者本人に限ります。代理人による申請はできません。

(2) 開示内容

次の3項目のみ開示します。

- ① 学力試験の教科別得点(100点満点の各教科の素点)
- ② 学力入試の選抜方法で示した計算方法に基づく評価点
- ③ 第一志望学科における合格者の評価点の最低点

(3) 期間

申請期間：令和6年2月16日(金)～令和6年3月15日(金)

開示期間：令和6年5月17日(金)～令和6年5月31日(金)

(4) 申請に必要な書類

- 学力入試受験票(コピー可)
- 東京工業高等専門学校入試成績開示申請書

入試成績開示申請書は、合格発表日以降に、本校Webサイトからダウンロードすることができます。

(5) 申請方法

学力試験の受験者が入試成績開示申請書に必要事項を記入し、受験票(コピー可)と共に本校入試窓口にて申請期間内に簡易書留で提出してください。本校入試窓口で直接申請することもできます。

(6) 開示方法及び開示場所

本校から特に連絡がない場合は、入試成績開示申請書に記入した開示希望日時に本校入試窓口に来てください。その際、受験票を持参してください。

開示は本校入試窓口での閲覧開示のみとし、開示資料を持ち帰ることはできません。また、郵送による開示や、申請日当日の開示はできません。

3. 出願書類に記載された個人情報の利用範囲について

入学志願者から提出された出願書類に記載されている情報や、Web出願システムで入力した情報に加え、入学者選抜で用いた入学試験成績・評価など、入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用する他、次の目的のためにも使用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料・授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

4. 注意事項

- (1) Web出願システムを利用する環境がない場合や、出願に必要な書類を印刷する環境がない場合は、在籍校に相

談してください。対応が難しい場合は、推薦入試に関しては令和5年12月22日(金)までに、学力入試に関しては令和6年1月19日(金)までに、本校入試窓口にご相談してください。

- (2) 出願書類に不備があるものは受理できません。
- (3) 受理された出願書類は返還しません。また、受理された出願書類の差し替えや記載内容の変更はできません。
- (4) 出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても合格を取り消す場合があります。
- (5) 出願書類に記入する際は、黒インクのボールペンを使用してください。インクが消せるボールペンは、使用しないでください。
- (6) 出願書類の記入内容を訂正する場合は、修正箇所を二重線で消し、その上に訂正印を押印してください。修正液や修正テープは使用しないでください。
- (7) 納付された入学検定料は、出願手続きが完了していない場合や重複して入学検定料を納付した場合に限り、返還請求ができません。詳細は本校入試窓口にご相談してください。
- (8) 受験のための宿舍の斡旋は行っていません。

5. 第2学年進級時の学科配属の選考方法について

第2学年進級時に決定する正式な配属学科は、入学後に改めて配属学科の希望を調査し、決定します。具体的には、次表の2項目の合計点を評価点とし、評価点の上位の者から、希望順位の高い学科へ順番に配属を決定します。

項目	配点	評価方法
入学志願状況	5点	出願時に記載した第1希望学科を希望する場合……5点 上記以外の学科を希望する場合……0点
入学後の学業成績	95点	指定された科目について、後期中間試験までの素点を科目ごとに100点満点で換算し、それらの平均値に0.95をかけた値

6. 入学者選抜に関する窓口

入学者選抜に関する業務は下記の入試窓口で取り扱っています。入学者選抜に関して不明な点がある場合も、入試窓口にお気軽にお問合せください。なお、Web出願システムに関する問合せは、システム右下の「お問合せ先」へお願いします。

《本校入試窓口》

〒193-0997
 東京都八王子市櫛田町 1220-2
 東京工業高等専門学校 学生課教務係
 TEL: 042-668-5127
 FAX: 042-668-5092

窓口受付時間: 祝日を除く月～金曜日
 8:30～13:00、14:10～17:00

VI. よくある質問

(1) 調査書に記入する中学校第3学年の5段階評定値は、いつのものを記入すればよいでしょうか。

中学校等を既に卒業(修了)している場合は、第3学年の評定値をそのまま記入してください。令和6年3月までに卒業見込み、又は修了見込みの場合は、令和5年12月31日の時点で最新の評定値を記入してください。

(2) 推薦入試の出願資格の中に中学校第3学年の評定値に関する条件があります。もう少し詳しく教えてください。

いくつか具体例を示します。下記の例では、9教科の5段階評定値の合計が37であり、数学、理科、英語の評定値はいずれも4以上なので出願条件を満たします。

教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	合計
評定値	5	3	5	4	4	3	5	4	4	37

しかし下記の例では、9教科の5段階評定値の合計が36以下なので出願条件を満たしていません。更にその下の例では、合計が38(36以上)ですが、数学の評定値が3なので、やはり出願条件を満たしません。

教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	合計
評定値	4	3	5	4	4	3	3	4	4	34

教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	合計
評定値	5	4	3	4	4	4	5	5	4	38

また、実用英語技能検定準2級以上などの資格点は、選抜の際の評価点に加味されますが、9教科の5段階評定値の合計の中には含まれませんので注意してください。

10段階評定を採用している場合は、1教科ごとに下表に従って5段階の数値に置き換えて判定します。

10段階評定	10・9	8・7	6・5	4・3	2・1
5段階評定	5	4	3	2	1

(3) 推薦入試における内申点の計算方法をもう少し詳しく教えてください。

例えば中学校第3学年の評定値が下表のようになっており、実用英語技能検定準2級の資格を取得している場合は次のように内申点を計算します。

教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	合計
評定値	5	3	5	4	4	3	5	4	4	37

数学・理科・英語

$$(5+4+4) \times 1.8 = 23.4 \text{点}$$

国語・社会・音楽・美術・保体・技家

$$(5+3+4+3+5+4) \times 1.3 = 31.2 \text{点}$$

実用英語技能検定準2級

2点

以上から、この受験生の内申点(70点満点)は、 $23.4+31.2+2=56.6$ 点になります。

(4) 学力入試における評価点の計算方法をもう少し詳しく教えてください。

学力試験の得点と、中学校第3学年の9教科の評定値が次のような場合を例として説明します。

教科	国語	理科	英語	数学
学力試験の得点	65	90	70	75

教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語
評定値	5	3	5	4	4	3	5	4	4

内申点は次のようになります。

$$(国語5+数学5+理科4+社会3+英語4) \times 1.2 \times 0.6 = 15.12$$

$$(音楽4+美術3+保体5+技家4) \times 0.6 = 9.6$$

$$合計 = 15.12 + 9.6 = 24.72$$

また学力試験の得点は次のように換算されます。

$$75(数学の得点) \times 2 \times 0.14 = 21$$

$$(65(国語)+90(理科)+70(英語)) \times 0.14 = 31.5$$

$$合計 = 21 + 31.5 = 52.5$$

従って、この受験生の評価点は $24.72+52.5=77.22$ となります。

(5) 出願時の志望学科の選択方法について、もう少し詳しく教えてください。

推薦入試又は学力入試のいずれか一方のみ受験する場合は、第一志望から第五志望の学科をWeb出願システムで選択してください。第五志望まで記入しない場合は、希望する志望順位まで学科を選択し、それ以外は「なし」を選択してください。

従って、例えば次の①、②、③のような学科選択が可能です。しかし、例④では第三志望が指定されているにもかかわらず第二志望が「なし」なので、このような学科選択はできません。また例⑤では同じ学科が第一、第二志望に記載されているので、このような学科選択もできません。

志望順位	例①	例②	例③	例④	例⑤
第一志望	物質工学科	電子工学科	機械工学科	機械工学科	情報工学科
第二志望	なし	電気工学科	情報工学科	なし	情報工学科
第三志望	なし	情報工学科	電子工学科	情報工学科	物質工学科
第四志望	なし	なし	電気工学科	なし	なし
第五志望	なし	なし	物質工学科	なし	なし
判定	○	○	○	×	×

推薦入試で不合格となった場合に学力入試も受験する場合は、原則として、推薦入試で選んだ志望学科がそのまま学力試験の志望学科になりますが、推薦入試で「なし」を選択した志望順位のみ、学力入試で新たに志望学科を追加選択できます。

例1

志望学科	推薦入試	学力入試
第一	情報工学科	情報工学科
第二	機械工学科	機械工学科
第三	電子工学科	電子工学科
第四	電気工学科	電気工学科
第五	物質工学科	物質工学科

例2

志望学科	推薦入試	学力入試
第一	物質工学科	物質工学科
第二	情報工学科	情報工学科
第三	なし	なし
第四	なし	なし
第五	なし	なし

例3

志望学科	推薦入試	学力入試
第一	電気工学科	電気工学科
第二	電子工学科	電子工学科
第三	なし	情報工学科
第四	なし	物質工学科
第五	なし	なし

例1では、推薦入試で第五志望まで学科を指定しています。この場合、推薦入試の志望学科がそのまま学力入試の志望学科になります。学力入試で志望学科の順位を変えることはできません。例2の場合も推薦入試の第一、第二志望が、そのまま学力入試の第一、第二志望学科になります。

しかし、推薦入試で志望学科が「なし」となっている部分がある場合は、例3のように学力入試で志望学科を追加することができます。志望学科が「なし」のところを学力入試でいくつ埋めてもかまいません（例3の場合は3つのうち2つ）が、推薦入試の志望学科を学力入試で変更することはできません。